

【エネルギー】省エネルギー 住宅分野

エネルギースター認可住宅が2008年の市場占有率17%弱を達成(米国)

2009年7月、米国環境保護庁(EPA: Environmental Protection Agency)は、2008年に全米で建築された全ての一戸建て住宅のうち、17%弱がEPAのエネルギースター^{注1}ラベルを獲得したことを発表した(2007年の12%から増加)。住宅建築業者と住宅購入者の双方が、消費者の光熱費を節約するとともに環境保護を支援する高性能住宅への投資を引き続き行っていることが示された。

「EPAのエネルギースターを獲得した新築住宅を購入することによって、自宅の光熱費を削減し、居住地域の大気を清浄に保つ支援をしようと決意する米国民は、毎年増加している。適切に設置された断熱材、高性能窓および高効率冷暖房などの装備によって、家庭のエネルギー需要を20%~30%削減できる。これは、米国の一般家庭の光熱費を何千ドルも節約することになる」と、EPAのリサ・ジャクソン長官は述べている。「市場環境が厳しい中でも、エネルギースター認可住宅への関心は増し続けている。環境を保護し、私達自身の健康を守り、将来米国を低炭素エネルギー社会に移行させるために、私達EPAは、建築業者と住宅購入者を支援していく。」

さらに、2008年にはエネルギースター認可住宅の市場占有率が、15の州で20%以上になった。(15の州:アリゾナ州、コロラド州、コネチカット州、ハワイ州、アイオワ州、ケンタッキー州、ネバダ州、ニューハンプシャー州、ニュージャージー州、ニューヨーク州、オハイオ州、オクラホマ州、テキサス州、ユタ州およびバーモント州。)

現在までに94万戸弱のエネルギースター認可住宅が建設済みであり、このうち2008年に建設された住宅は10万戸以上にのぼる。2008年単独では、エネルギースター認可住宅に住む米国の一般家庭は、年間の光熱費を2億5,000万ドル以上節約している。これは、電力を15億kWh以上、天然ガスを1億5,500万サーム^{注2}節約したことに相当すると同時に、年間換算で車両35万台弱分の温室効果ガスを削減したことになる。

エネルギースターラベルを獲得するためには、住宅はEPAが策定したエネルギー効率の厳格なガイドラインを達成しなければならない。一般的には、以下のような省エネ装備が含まれている:

注1 「エネルギースター」(ENERGY STAR[®])制度は、エネルギー効率の高いオフィス機器の製造を促進させる目的で、1992年に米国環境保護庁(EPA)が主体となって開始された。現在ではオフィス機器の範囲にとどまらず、テレビ、エアコン、照明器具などの一般の電気製品、さらに住宅やビルなどの建物もその対象になっている。一定の省エネ基準を満たした製品や建物には、エネルギースターのロゴ使用が認められる。

注2 サーム(therm: th)。米国のガス料金の請求単位で10万btu。

- ・ 効率的な断熱システム
- ・ 高性能窓
- ・ 住宅の気密性とダクト
- ・ 効率的な冷暖房装置
- ・ エネルギースター認可の照明および電気器具

エネルギースター認可住宅の詳細についてはウェブサイトを参照されたい。

<http://www.energystar.gov/HomesMarketIndex>

翻訳：大釜 みどり

出典：<http://yosemite.epa.gov/opa/admpress.nsf/0/45E75621976F6DEA852575E700550E14>